

第41号

工組だより



なまリンちゃん
(全生連イメージキャラクター)

〒960-8035 福島市本町5-8 福島第一生命ビルディング 6F
TEL 024-523-1695
FAX 024-522-3685
E-mail fukusima@zennama.or.jp

福島県生コンクリート工業組合



品質管理監査員研修会開催

福島県生コンクリート品質管理監査会議による第2回監査員研修会が7月25日(火)に開催されました。佐川監査統括責任者と酒井副監査統括責任者から2023年度監査における留意点説明と、事務局からは9月から1ヵ月間で実施予定の監査スケジュールが提示されました。本年度の監査員48名が参加しました。



研修会の模様

交付式開催について

2. 地区本部・技術委員会報告
3. 地区本部・品質管理監査委員会報告



委員会の模様

共同事業委員会開催

2023年度第2回共同事業委員会(石井良夫委員長)が8月25日(金)に開催されました。概要は次の通りです。

<主な議題等>

1. 舗装用コンクリート出荷状況について
2. 地区本部・共同事業委員会報告



委員会の模様

技術委員会・品質管理監査委員会(合同委員会)開催

2023年度第2回技術委員会(磯上秀一委員長)と、第2回品質管理監査委員会(佐川保博委員長)が合同で7月28日(金)に開催されました。概要は次の通りです。

<主な議題等>

1. 2023年度技術講演会・品監合格証

総務委員会開催

2023年度第2回総務委員会（大竹重政委員長）が8月30日（水）に開催されました。概要は次の通りです。

＜主な議題等＞

1. 経営者セミナー開催について
2. 本年度代行試験取扱状況について
3. 地区本部・総務委員会報告



委員会の模様

熱中症を防ごう!

— 令和4年は休業4日以上熱中症が14件発生 —

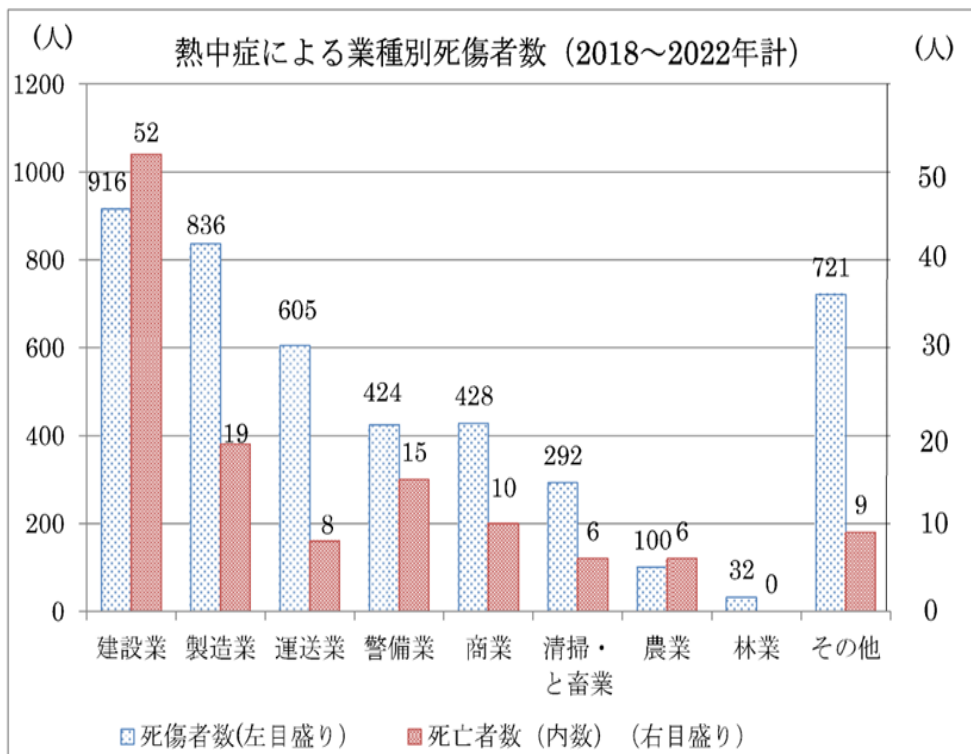
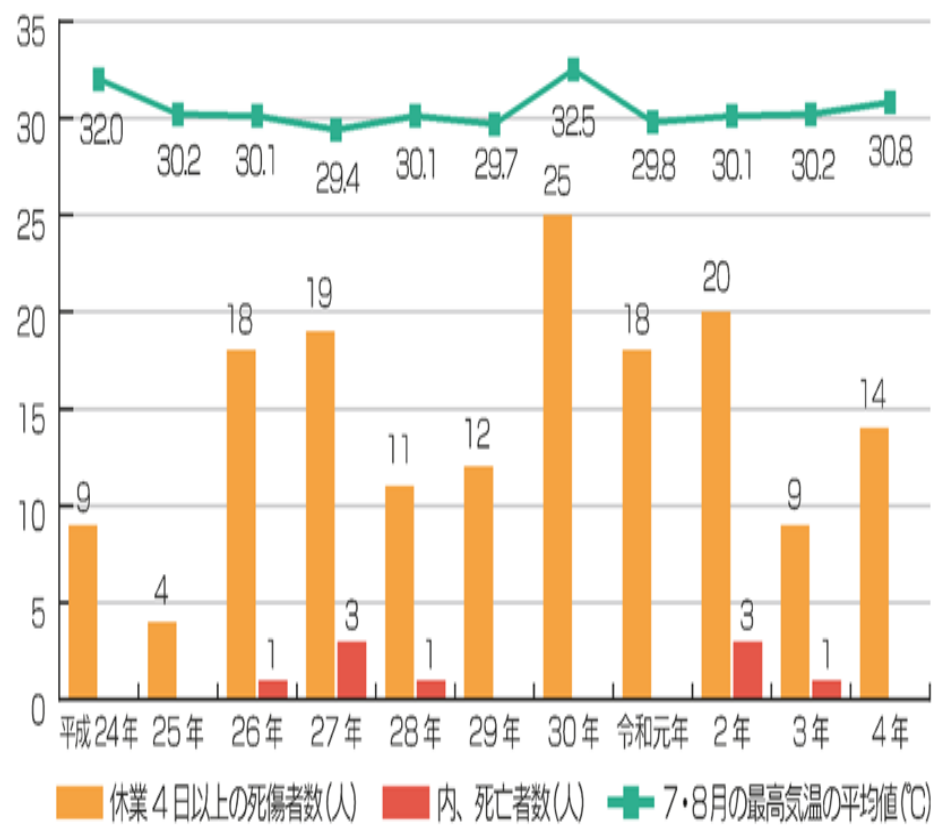
まだまだ厳しい暑さが続いています。福島労働局より「職場における熱中症予防対策の徹底」が呼びかけられています。2022年の熱中症による労働災害発生状況について全国では、休業4日以上死傷者数は805人、うち死亡者数は28人となっており2021年の状況と比較すると死傷者数は43%、死亡者数は40%増加しています。福島県内の熱中症による労働災害は、死亡者数は0人でしたが、死傷者数は14人で2021年と比べ5人増加しています。

熱中症による死傷者数は依然高止まりしており、死亡に至る事例も後を絶たない状況から、引き続き熱中症予防対策の徹底をお願いします。

令和4年 熱中症災害発生事例の抜粋

番号	発生月	業種	被災者	発生状況
1	7月	製造業	男 40歳代	室内暑熱環境下で10分作業を行ったところ、目まいで床に倒れこんだ。自力で移動が困難な状況となり救急搬送された。
2	8月	警備業	男 60歳代	建設工事現場で交通誘導業務中、気温の上昇により、頭痛と目まいに襲われた。お昼休憩中様子を見たが良くなり病院内に搬送された。

福島県における熱中症による労働災害発生状況



【熱中症予防のポイント】

- 喉の渇きにかかわらず水分・塩分を摂取すること
- こまめに休憩をとること
- 暑さに慣れる期間を設定すること（1週間程度かけて徐々に身体を慣らすこと）
- 労働者の異変を認めたときは医療機関に搬送すること

キャンペーン期間(5月~9月)にすべきこと

STEP 1

暑さ指数の把握と評価

- JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握
地域を代表する一般的な暑さ指数(環境省)を参考とすることも有効



環境省
熱中症予防情報
サイト

STEP 2

測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

<input type="checkbox"/> 暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施	
<input type="checkbox"/> 休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置	
<input type="checkbox"/> 服装	準備期間に検討した服装を着用	
<input type="checkbox"/> 作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止	
<input type="checkbox"/> 暑熱順化への対応	7日以上かけて熱へのばく露時間を次第に延長 ※新規入職者や休み明け労働者に注意	
<input type="checkbox"/> 水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的 に摂取	
<input type="checkbox"/> プレクーリング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減	
<input type="checkbox"/> 健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮 ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、 ⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、 ⑦感冒、⑧下痢	
<input type="checkbox"/> 日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認	
<input type="checkbox"/> 作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、労働者にお互いの健康状態を留意するよう指導	
<input type="checkbox"/> 異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、病院に搬送する(症状に応じて救急隊を要請)などを措置 ※全身を濡らして送風することなどにより体温を低減 ※一人きりにしない	

重点取組期間(7月)にすべきこと

- 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- 体調不良の者に異常を認めるときは、躊躇することなく救急隊を要請

梅雨明け



<主な行事>

<7月>

- 3日(月) 福島県生コンクリート品質管理監査会議による生コン
- ~7日(金) 工場立ち入り 査察(6工場)
- 7日(金) 地区本部 技術委員会
- 12日(水) 工組 第1回コンクリート主任技士資格取得支援研修 Web
- 14日(金) 地区本部 事務局連絡会議 Web
- 18日(火) 全生連 品質管理監査委員会
- 21日(金) 地区本部 品質管理監査委員会
- 25日(火) 地区本部 正副本部長会議
- 25日(火) 福島県生コンクリート品質管理監査会議 監査員研修会
- 26日(水) 地区本部 総務委員会
- 28日(金) 工組 技術委員会/品質管理監査委員会(合同委員会)
- 28日(金) 地区本部 共同事業委員会

<8月>

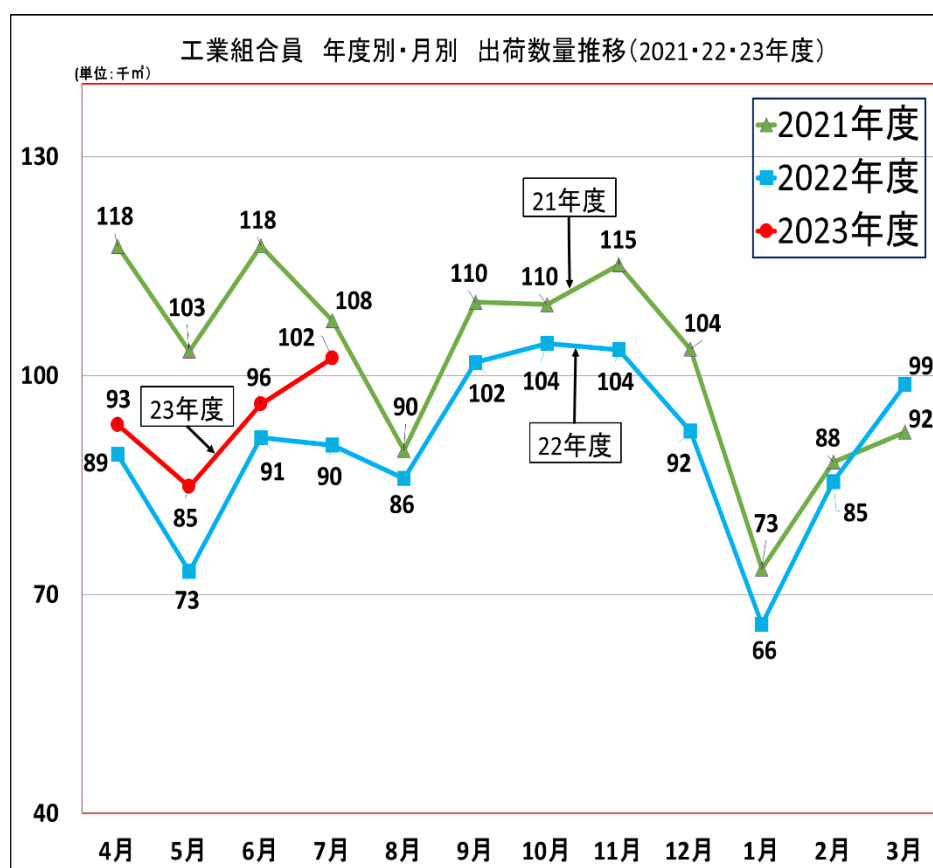
- 9日(水) 福島県生コンクリート品質管理品監会議 監査員研修会(追加) Web
- 17日(木) 工組 第2回コンクリート主任技士資格取得支援研修 Web
- 22日(火) 福島県建設産業団体連合会 理事会
- 25日(金) 工組 共同事業委員会
- 30日(水) 工組 総務委員会

<統計>

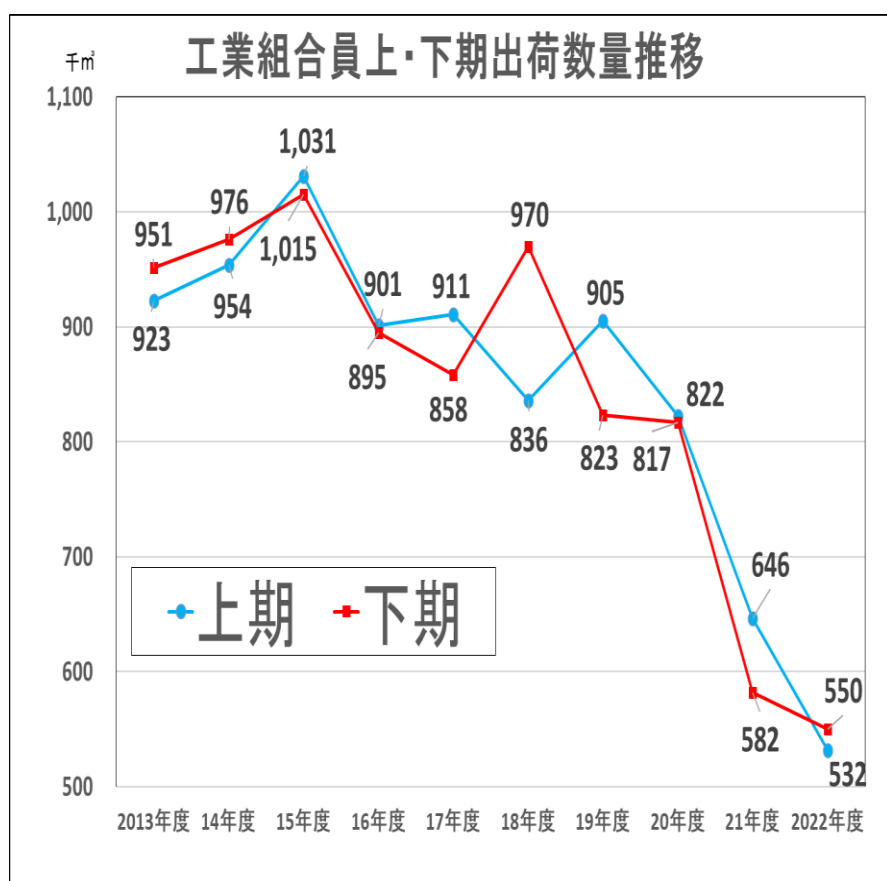
福島県工組(6地区)

(単位: m³・%)

地区	7月	前年度比	累計(4~7月)	前年度比
県北	18,732	135.1%	65,176	119.6%
県中	17,658	97.0%	67,748	104.6%
白河	13,359	120.2%	46,398	92.2%
いわき	15,499	92.5%	62,372	95.6%
相双	22,014	154.0%	92,439	155.1%
会津	15,112	93.0%	42,359	84.9%
月計	102,374	113.2%	376,492	109.4%



工業組合員上・下期出荷数量
(2013年度~2022年度)



東北地区本部(工業組合)

(単位: m³・%)

県	7月	前年度比	累計(4~7月)	前年度比
青森	52,995	92.5%	195,286	101.3%
秋田	48,166	73.9%	172,458	83.8%
岩手	50,464	62.2%	196,373	70.6%
山形	49,701	83.7%	163,451	82.6%
宮城	81,172	99.6%	295,624	85.2%
福島	102,374	113.2%	376,492	109.4%

福島県隣県6県工組出荷数量

(単位: m³・%)

県	7月	前年度比	累計(4~7月)	前年度比
宮城	81,172	99.6%	295,624	85.2%
山形	49,701	83.7%	163,451	82.6%
新潟	89,241	88.9%	315,123	91.9%
茨城	121,156	80.4%	491,874	82.8%
栃木	85,011	99.4%	319,302	94.5%
群馬	78,809	109.9%	290,169	96.4%